



鼎中学校だより

令和4年4月7日

文責：教頭 飯野

新入生、新任職員を迎え、令和四年度がスタートします。



4月6日、新入生105名を迎え、入学式、一学期始業式が行われました。生徒数348名で、令和4年度のスタートとなります。

今年度の本校のグランドデザイン(一部抜粋)は、以下の通りです。

めざす生徒像 **気づき 考え 実行する生徒**

めざす学校像 **つながりの中で自立する力が育つ鼎中学校**

【重点】「自立」のために育む4つの資質・能力

意欲的・主体的に学び活動するための「自己肯定感」

共同体のよき一員になるための「協同の精神とスキル」

自ら判断して行動するための「思考力・判断力・表現力」

未来を切り拓く原動力「ふるさと鼎・飯田・下伊那への愛着」

今年度もグランドデザインの実現を目指して、職員一同、力を尽くしてまいります。また、生徒が有意義な中学校生活を送れるよう、学校・家庭・地域が連携しあっていけるようにしていきたいものです。よろしくお願いいたします。



新任職員紹介

(㊦ 氏名 (主な担当) 前任校等)

- ① 林 重光 (2年4組) 飯田養護学校
- ② 齋藤 博紀 (1年) 新規採用
- ③ 庄田 秀俊 (初任研指導) 高森町立高森中学校
- ④ 間澤 悦子 (ふれあい教室) 飯田市立緑ヶ丘中学校
- ⑤ 稲垣 さやか (司書 家庭科) 飯田市立旭ヶ丘中学校
- ⑥ 岡村 あつ子 (事務) 新規採用
- ⑦ 宮井 光広 (ふれあい教室) 飯田市立旭ヶ丘中学校

学級担任等職員組織

◎主任 ○副主任

校 長	齊藤 辰幸	教 頭	飯野 雄一郎	教務主任	唐澤 讓
養護教諭	塩澤 宏子	事 務 長	平澤 みどり	事 務	岡村 あつ子
図書館 家庭科	稲垣 さやか	不登校等生徒支援	間澤 悦子	教育支援指導主事	宮井 光広
特別支援教育支援員	代田 恵子	初任研指導教員	庄田 秀俊	LD通級指導教室担当者	田中 右子
用務員	林 昌伸	教員業務支援員	後藤 三枝子	スクールカウンセラー	辰口 文江
ALT	アボンワ ローランド	ALT	ヘンリー フローレス		

		1 学年		2 学年		3 学年	
担 任	1組	○ 新谷 俊博	理科	○ 石原 ひとみ	数学	○ 桶野 孝紀	保体
	2組	下沢 友哉	社会	佐藤 雅敏	保体	中村 瑞枝	英語
	3組	山崎 直人	数学	小笠原 健	数学	井出 弘太郎	国語
	4組			林 重光	保体	矢嶋 俊樹	技術
	A組	竹原 博紀	美術				
	B組					加藤 太一	社会
	C組					小林 由貴子	英語
	D組			牧内 照佳	社会		
E組	松村 奈月	英語					
各学年 担 当 職 員	◎ 川上 篤史 齋藤 博紀	社会 音楽	◎ 入邊 真美 松崎 光政	英語 国語	◎ 玉置 淳一 宮澤 修	国語 理科	

～一学期始業式 校長講話より～

みなさんは「カマス」という魚を知っていますか？塩焼きや干物、空揚げにするとおいしい魚です。そのカマスを使った有名な実験があります。まず、大きな水槽を透明な板で仕切って、一方にはおなかを空かせたカマス、もう一方にはえさとなるイワシなどの小魚を放します。するとカマスはえさを食べようとして、小魚の方に近づこうとします。ところが、透明の板があるので小魚に近づけません。すると、腹ペコのカマスは何度も何度も透明な板に体当たりをします。思

い切り頭からぶつかるので傷ついてしまいます。そして、カマスは、ついにはあきらめておとなしくなってしまいます。

次に、水槽の中の透明な板をとってみます。そうすれば、カマスは自由にえさを食べはじめる…と思いきや、カマスはいっこうに小魚を食べようとしません。それどころか、目の前を小魚が泳いでもまったく反応せず、最後にはなんとそのまま飢え死にしてしまうそうです。他のカマスを使って同じ実験を何度やってみても、同じ結果になるそうです。

カマスは何度チャレンジしても小魚を捕れず、「どうせ自分にはできない」と思い込んでしまいました。そして、小魚が食べられるのに、できないと思い込んだせいで、飢え死にしてしまったのです。

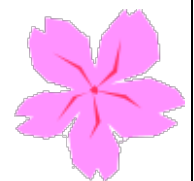
さて、私たち人間はどうでしょうか。人間もうまくいかないことが続いたり、失敗をしたり、否定ばかりされていると、「どうせ自分にはできない」と思い込んでしまうことがあります。比べてもしょうがないのに、自分と他の人を比べて、「自分はダメだ」と思い込んでしまうこともあります。

そこで、今年度最初に、私が皆さんに伝えたいメッセージは、あきらめカマスのように、「どうせ自分にはできない」と自分を否定的に考えがちな人は、その考え方、その思い込みを変えましょうということです。なぜかと言うと、その思い込みのせいで、自分の成長を止めてしまったり、本来持っている能力を発揮できなくしてしまうからです。一つ例をあげましょう。大坂なおみ選手を知っていますか。世界四大大会で4回も優勝し、世界ランキング1位になったこともあるたいへん実力のあるプロのテニス選手です。これほど輝かしい実績のある大坂さんですが、去年の夏、ツイッターに、こんな書き込みをしました。

「私は心の中で、自分のことを不十分な人間だと思っている。私は自分に対して『よくやった』と思ったことがない。いつも『私はダメだ』とってしまう。」

大坂選手が、こんな風に自分のことを思い込んでいるとは思ってもみませんでした。この思い込みのせいか、大坂選手は、実力があしながら、精神的に不安定になって大会でいい結果を残すことができていません。

みなさんは、「自己肯定感」という言葉を聞いたことがあると思います。自分自身を認め、受け入れる気持ちのことです。大坂なおみさんのように「自分はダメだ」と思い込んでしまっているとき、人は自己肯定感が低くなっています。では、自己肯定感を高める方法はあるのでしょうか。



あります。今日は時間がないので、誰でもできる簡単な方法を一つ話します。「自分はこれをやった、これをやることができた」ということを見つけて、自分をほめてみるのです。難しく考える必要はありません。例えば、親に言われなくても「決めた時間でゲームをやめた」とか、「授業中、自分の意見を言えた」とか「おしゃべりをがまんしてお掃除ができた」など、自分ができたこと、できていることを自分で認めてあげましょう。大坂なおみ選手も、自分の考え方を変えようと、次のように発信しています。「私は自分のことや自分の功績をもっとほめたたえてあげるようにしたい。朝起きられたら、それだけで勝ちなのです。」このように大坂選手も自分のことを認めたり、ほめたりして自己肯定感を高めようとしています。

ところで、最初に話したかわいそうな「あきらめカマス」がえさを食べようする方法があるの

ですが、わかりますか。

正解は…“別のカマスを一匹水槽に入れる”という方法です。何も知らない新入りカマスが喜んでえさを食べている様子を見て、あきらめカマスもえさを食べ始めるそうです。私たち人間も、一生懸命頑張っている人に出会うと、自分も頑張ろうという気持ちになります。やはり、カマスと同じです。やる気が出ないときは、みなさんの周りで一生懸命勉強や練習にはげんでいる友達をみて、まねをしてみるのもいいかもしれません。そして、少しでも頑張っている自分を認めてください。

連絡

○緊急連絡は、安心メールを利用します。 また、休日・夜間の急を要する連絡は
080-7557-8411 へお願いします。

なお、学校の電話は午後7時から朝7時30分までは留守番電話となります。

○安心メールのテストメールを8日(金) 17:00に行います。1年生の皆さんはそれまでに登録を完了してください。

○新型コロナウイルス感染症対策を引き続き継続してまいります。朝の健康観察等、保護者の皆さんに多々ご協力いただきます。よろしく願いいたします。

4月の予定

- 7日(木) 校友会入会式 赤十字入団式
オリエンテーション
部活発足会
- 7日(木)~11日(月) あいさつ運動
- 8日(金) 全校ガイダンス 部活動説明会(1年)
- 11日(月) 部活動見学(1年) 心電図検査(1年)
- 12日(火) 委員会① 仮入部①
- 13日(水) 発育測定 健康の日
- 14日(木) 家庭訪問① JVCガイダンス 3時間授業
- 15日(金) 家庭訪問② 3時間授業
- 18日(月) 家庭訪問③ 3時間授業
- 19日(火) 全国学力学習状況調査(3年) 仮入部②
- 21日(木) 眼科検診(1年) 仮入部③
- 22日(金) 避難訓練 1年生入部式
- 26日(火) 耳鼻科検診(1年)
- 27日(水) 地区校友会
- 28日(木) 参観日 PTA総会

※新型コロナウイルス感染状況により、変更する場合があります。

